



未来を担う子ども達へ

地元の駅から「夢」を応援!!

地元のおいしいものにこだわって、発信している道の駅。岩代地域新殿地区にある道の駅「さくらの郷」は、地元のそば粉を使った「手打ちそば」や年間2万個を売り上げる「こんぼこロッケ」が人気を博しています。

毎年この時期には、地元で伝承される学問の神様にちなんで「合格餅」を製造。地元産もち米から作られた「合格餅」は、高校受験を控える岩代地域の中学3年生にプレゼントされます。



五角で「合格」



餅の粘り強さで「合格」



さくらの郷で「サクラサク」



餅を食べて「もちろん」合格



道の駅「さくらの郷」安齋さん

地域の中学3年生にプレゼントする「合格餅」は、道の駅駅長が祠の前で祈願しています。「高校受験はもちろんですが、その後の人生においても、みんなが望む道に進んでほしいと思います」と話してくれました。

※「合格餅」は1個500円。3月中旬までの販売。店頭では1家族2個までに限定。3個以上ご希望の方は、電話予約をお願いします。

ひとあしのばして!



名目津温泉
二本松市茂原字湯ノ作35

新殿地区





各中学校での「合格餅」贈呈式



～遠藤校長(岩代中)より～
 「粘り強さ抜群」「餅ろん合格」というメッセージの通り、受験に臨む3年生に力強い応援となりました。
 地元の人々の思いがこもった合格餅を食べて、粘り強く受験を乗り切ってほしいと思います。

写真 1・2_岩代中学校 3_小浜中学校

にいどの「新殿」地名の由来…

平安時代、今は学問の神様として知られる菅原道真が、都(京都)から大宰府(福岡)へと左遷された時に、その一族23人も全国各地に流されました。

その際、一族の一人である菅原清貞は、今の^{すがわらのみちざね}新殿地区にたどり着き、地域の人たちは、東新殿字鬼瓦に新たに御殿を建てました。その清貞の位が^{すがわらのきよさだ}「正二位」だったため、^{しょうにい}「二位殿」と呼ばれ、地名として「ニイドノ」と呼ばれるようになりました。(「旧新殿村由来記(新殿公民館)」を一部加筆修正)

東新殿字鬼瓦地内には「下野壇」と呼ばれる場所があり「新殿村の開祖といわれている正二位菅原清貞を埋めた塚」と言われています。(「岩代町史4」より)

※由来には諸説あります。

